

森と原っぱとバラの中之島公園再生;第一回シンポジウム

中之島公園に「こども本の森」

安藤忠雄氏のコンクリート巨大建築

ではなく、

本当の森を、コンクリートの路面をはがして、みんなで植栽しよう

「みんなの本との森」

をつくらう

○シンポジウムのねらい;

現在の中之島公園は、都心の雑踏から逃れ、緑のなかで時間を過ごせる環境が失われています。二車線の自動車道が東西に中之島公園を貫通し、自動車は騒音と排気ガスを公園内にまき散らし歩行者を危険にさらしています。大阪市中央公会堂前の広場のコンクリートと石畳、コンクリートむき出しの駅舎は暑い日差しで、ヒートアイランド化して、砂漠のような公園になっています。

そこに、新たに建築家安藤忠雄氏の設計による3階建コンクリート巨大建築の「こども図書館」が堂島川の水辺を背にし、公園の中央を貫通する中之島通に面して建てられることになりました。中之島公園は、もはや緑の公園ではなく、砂漠化した広場を前にした市街地になります。安藤忠雄氏の「こども図書館」という箱モノ文化施設は、中之島公園を死に至らしめます。

さらに、安藤氏の巨大な建築物は、公園が本来提供してきた市民が良好な環境を享受し、休息や散歩、戸外活動をする市民権と人権を奪い、公園の公共性を破壊する暴挙です。安藤氏の「こども図書館」は他の場所でも建設が可能です。安藤氏の巨大建築物のために、市民の公共の土地を提供するのは、大阪市政にとっても正当性がありません。即刻、こども図書館の提案の撤回を求めるものです。

私たちは現状の中之島公園を憂い、安藤忠雄氏の中之島公園の破壊の暴挙を契機に、「中之島公園を良くする会」をたちあげました。安藤氏の「こども本の森」という偽物の森に代わって、本当の森を、皆様と共にコンクリートの砂漠の路面をはがして、創りたいと考えています。以上のねらいのもと、標記のシンポジウムを企画いたしました。皆様のご支援をお願いします。中之島公園を良くする会
連絡先;吉村元男 ecohabi@gaiaction.com。中橋文夫 nak-fumi@kankyo-u.ac.jp。
大原紀子 gg-leaf@iris.eonet.ne.jp

シンポジウム進行表

平成30年9月24日(月=祝日)午後1時30分開講

テーマ;中之島公園に「こども本の森」ではなく、

「みんなの本との森」をつくらう

講演者とテーマ(敬称略)

1;シンポのねらい;砂漠化している中之島公園に「本との森」をつくらう

—安藤忠雄氏の、子ども図書館の撤回を!—

吉村元男 造園家(地球ネットワーク会議)

2;「こども本の森—中之島」の建築構想では、こどもの知的興味を満たさない
異 照子(日本図書館協会理事)

3;一個人である建築家に、公共の土地を提供してはいけない

—こども本の森で、中之島公園が破壊される!代わって「本との森を!—
大原紀子 造園家(グリーン ガーデン リーフ代表)

4;中之島公園の文化遺産を生かすこども図書館の代替案

—もったいない精神と commons の公園に向けて—

中橋文夫 造園家(鳥取環境大学教授)

5;子どもの環境に足りないのは「箱もの」ではなく、
「遊びまわられる自然です」

伴 年晶 建築家(新建築技術者集団大阪支部代表幹事)

6;討議

7;今後の進め方

中之島公園再生事業第1回シンポジウム

時期;平成30年9月24日(月=祝日)

午後1時30分開講~午後4時30分

場所;大阪中央公会堂・大会議室

参加費;1000円/人 学生500円/人

定員80人;

○主催;中之島公園を良くする会

中之島公園再生事業委員会、新建おおさか

○後援;環境緑化新聞

○協賛;その他



中之島公園現況と「こども図書館」予定位置



芝生も木陰もない砂漠化した中之島公園。酷暑の夏にはヒートアイランド化し、歩くこともできない



中央公会堂を背景にしたこども図書館のパスを手にもって説明する安藤忠雄氏



3階建ての安藤氏のコンクリート巨大建築で、公園は市街地の風景になる。



中之島公園再生計画案 仮案図作成;吉村元男